

石老山山行報告



【山行日】2017年4月23(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 7:00

【費 用】マイカー1台 : 2,100円

【メンバー】CL:鈴木、大久保、関、鶴見、
田中、福田、藤原、松館

【コースタイム】岩舟支所 P7:00＝石老山登山口

8:20/8:35→顕鏡寺 8:45/8:55→融合見晴台 9:20/9:30

→石老山 10:00/10:20→大明神 11:00/11:35→

キャンプ場 13:00→プレジャーフォレストバス停 12:20

→石老山登山口 P13:00/13:10＝岩舟支所 P15:00

相模湖の南に位置し、気になる山「石老山」登山を計画した。新緑の時季が一番良いかなと思い、4月下旬の日を選んだ。圏央道から中央道に入り、出口専用の相模湖東 IC から出て相模湖病院を目指す。出発時間が遅く、駐車場が空いているか心配したが、何とか1台分空いていて奥に駐車できた。準備を整え、ストレッチを済ませ出発する。

駐車場と相模湖病院の間の参道を進み、小沢をアルミの橋で渡ると案内板があり山道に入る。

すぐに石老山名物の奇岩群が現れ、苔むす巨岩の間を登って行く。樹林帯の中に石畳の道が続き、

ひと登りすると顕鏡寺に着く。小休止し衣服調整をして、トイレを済ませる。顕鏡寺は源海という僧が

建立した寺で、岩屋や鐘楼堂がある立派な寺だ。寺の左手を登り、朱塗りの鳥居をくぐると急登になり、

杉と巨岩が再び現れる。奥ノ院を守る雷電岩や試し岩、天狗岩等を眺めながら登ると、八方岩と桜展望台コースに分かれ桜展望台コースを進む。尾根を巻くように進むと、直ぐに桜展望台に出て

展望が開けるが、桜は昨夜の雨で散ってしまった。

この先で八方岩からのコースと合わさり、緩やかに登って行くと融合平展望台に着く。ベンチや

テーブルがあり、展望を楽しみながら一息入れる。登山道に戻り、杉や檜の植林地と雑木林の

道を登ると、石柱とベンチがある台地に出る。標識に石老山まで3分と書いてあり、休まず頑

張って登ると8分で山頂に着いた。山頂からは檜が伐採された前面に、丹沢の主脈や右側に富

士山が望めると書いてあるが、丹沢の山頂部と富士山は雲で覆われていた。展望を楽しみながら

大休止し、デコポンやチョコパイを食べエネルギーを補給する。山頂から西に少し進み、篠原への

道を左に分けて大明神方面に下って行く。岩や木の根が交った急坂を下り、小さなピークをいくつ



展望が開けるが、桜は昨夜の雨で散ってしまった。

この先で八方岩からのコースと合わさり、緩やかに登って行くと融合平展望台に着く。ベンチや

テーブルがあり、展望を楽しみながら一息入れる。登山道に戻り、杉や檜の植林地と雑木林の

道を登ると、石柱とベンチがある台地に出る。標識に石老山まで3分と書いてあり、休まず頑

張って登ると8分で山頂に着いた。山頂からは檜が伐採された前面に、丹沢の主脈や右側に富

士山が望めると書いてあるが、丹沢の山頂部と富士山は雲で覆われていた。展望を楽しみながら

大休止し、デコポンやチョコパイを食べエネルギーを補給する。山頂から西に少し進み、篠原への

道を左に分けて大明神方面に下って行く。岩や木の根が交った急坂を下り、小さなピークをいくつ

か越えるが、左側は展望が開け芽吹いたばかりの新緑がとても素晴らしい。やがて大明神が祀ら



れた祠がある場所に着き、ここでランチタイムとする。本日の山ご飯は、天ぷらそば。昨日の足尾植樹祭の帰りに、採れたての山菜を沢山買い天ぷらを揚げてきた。山菜天ぷらそばは好評で、筍の煮つけやゆで卵、キュウリの漬物など豪華なランチに舌鼓を打つ。ここから少し登ると大明神展望台に出る。ここで昼食の予定だったが、我輩が勘違いし手前の大明神山で昼食にしてしまった。広い板張りの展望台にベンチがあり、手前にはベンチとテーブルもあり

り展望も抜群の場所だ。遊覧船が浮かぶ相模湖や、萌黄色の山並みは絵葉書のように美しい。展望台から東に曲がって急降下すると、谷筋の道となり鬱蒼とした杉の植林帯を下るようになる。やがて右下に砂防堰堤が現れ、林道を歩くようになる。少し下るとキャンプ場になり、トイレを借りる。箕石橋で車道と合流し、右に下って道なりに進むとプレジャーフォレスト前バス停に出る。国道412を右に進み、石老山登山口信号を右折し標識に従って進むと駐車場に着く。靴を履きかえて帰路につき、相模湖IC手前のセブンで飲み物をゲットする。中央道の小仏トンネルも渋滞が無く通過出来、圏央道も順調に走り予定より早く帰着出来た。

